

プレスリリース

ファイナル・レポート / 2016年4月

『第7回ワイン&グルメ ジャパン』活況の内に閉幕

第7回ワイン&グルメジャパンが2016年4月13日（水）から15日（金）の3日間、東京ビッグサイトで開催され、同時開催の他6展と合わせて前年を上回る75,845名の来場者を記録しました。ファベックス展、デザート・スイーツ&ドリンク展、食品&飲料PB・OEMビジネスフェア、食肉産業展、麺産業展、ハラルマーケットフェアと同時開催された「ワイン&グルメジャパン2016」には22カ国から181社の出展があり、そのうち60%以上が海外からの出展でした。（6展合同では合計908社）

ケルンメッセアジア統括部長のミヒャエル・ドライヤーは、「第7回を迎えるこのイベントが、更に新しい国の出展者と多くの来場者を集め、ワインのみならず食品飲料に携わる業界関係者にとって、非常に重要なポジションへと成長を遂げている」と述べました。

今回の海外パビリオンは一層充実し、ジョージア、ドイツ、イタリア、スペイン、ポルトガル、タイ、南アフリカ、オーストラリアといった15を超える国々が国別の展示を行いました。ドイツワイン基金マーケティングマネージャーのマニエラ・リープヒェン氏は、「今回2度目の出展となるドイツパビリオンでは、各出展者が予想以上の成果を感じており、多くの商談が出来た」と語っています。また、ある日本の出展者は、来場者層について「毎回非常に多くのホテル、飲食店、小売店の購買決定権を持つ責任者が来場し、スムーズに商談に繋がる」と高く評価しています。

併催プログラムとして、今年も業界の専門家による24ものセミナーが開催され多くの来場者が参加しました。ワイン王国主催の特別講座では、昨今の肉ブームに基づき、様々な肉料理とワインのマッチングを実際に体験しながら、ワインに合う肉料理のポイントやブームを牽引する女性をターゲットにしたメニュー開発のコツに至るまで詳しく解説が行われました。そのホットなテーマ性は、多くの業界関係者にとって非常に興味深く有意義なものとなったようです。2日目夕刻には、好評を博しているワイン王国との共同プログラム「The Night of Wines」がヒルトン東京お台場にて催され、ソムリエの資格を持つ著名なレストランオーナーらをパネリストに招き、今年のワイントレンドをテーマにパネルディスカッションが行われました。その後、素晴らしいお台場の夜景を眺めながら、海外のワイン生産者や国内の業界関係者が、ワインテイastingとビュッフェディナーを楽しみ交流を深めました。

タイ E.L.F.B 社のマネージングディレクター、ネディム・ベアール氏は「ワイン&グルメはひとつのグローバルヴィレッジとして考えている。私たちは皆、目的を同じくする専門業者と共に、互いの食文化やアイデアの情報交換をグローバルに行っているのだ」とイベントの存在意義を述べています。また、ジョージアのナショナルワインエージェンシー、マーケティングマネージャーのエレーネ・キクナーゼ氏は「このイベントはまさに私たちワイン生産者が必要とするビジネスの場である。適切なターゲットに向けてのアプローチと宣伝の効果を増幅させる大きな手助けとなっている」とその出展効果について熱く話しています。

第8回ワイン&グルメは2017年4月12日(水)~14日(金)の日程で、再び東京ビッグサイト東ホールにて開催されます。

ご出展・ご来場に関するお問合せ

ケルンメッセ株式会社

〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿 1-13-6 恵比寿 IS ビル 5F

[TEL:03-5793-7770](tel:03-5793-7770) FAX:03-5793-7771

Email:kmjp@koelnmesse.jp URL:www.koelnmesse.jp